



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード
 コード番号 6245 URL <https://www.hirano-tec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡田薫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原昌史
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0745-57-0681

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	22,571	29.0	3,213	29.7	3,263	28.4	2,140	20.1
30年3月期第3四半期	17,494	52.1	2,478	71.9	2,542	70.9	1,782	50.6

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 1,926百万円 (△4.8%) 30年3月期第3四半期 2,024百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	142.28	—
30年3月期第3四半期	118.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	44,503	26,323	59.2
30年3月期	37,445	24,923	66.6

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 26,323百万円 30年3月期 24,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
31年3月期	—	18.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	44.7	3,950	35.1	4,000	34.1	2,800	34.1	186.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	15,394,379 株	30年3月期	15,394,379 株
31年3月期3Q	350,783 株	30年3月期	350,783 株
31年3月期3Q	15,043,596 株	30年3月期3Q	15,043,766 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績は堅調であり、雇用情勢の改善が続くなか、景気は回復基調で推移いたしました。

海外におきましては、米国では雇用情勢や所得の改善が進み、欧州では成長率は伸び悩んだものの全体的には景気は堅調に推移いたしました。

また、中国経済は、投資の減速感や米中貿易摩擦等を背景とした影響により、不透明感が残る状況で推移いたしました。米国の貿易に関する保護主義的な政策や地政学的リスクなど世界経済への懸念は大きく、後半は成長の鈍化の高まりとともに先行きの不透明感が続く状況にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、「時流に乗って躍進」をスローガンに、顧客ニーズの変化や市場動向を的確に把握し、顧客満足度の向上に努めるとともに、価値ある技術を創出し続けるべく、積極的に受注並びに生産活動に取り組んでまいりました。

スマートフォンや電気自動車関連市場の需要拡大に向けた企業の設備投資計画により、電気・電子部材関連及びエネルギー関連分野向けを中心として受注及びに受注残高ともに、高水準で推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,571百万円(前年同期比29.0%増)となり、利益面では営業利益は3,213百万円(前年同期比29.7%増)、経常利益は3,263百万円(前年同期比28.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,140百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

受注残高につきましては、43,362百万円(前期末比12.7%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置、光学機能性フィルム製造装置関連を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は9,144百万円(前年同期比14.2%増)となりました。また、セグメント利益は888百万円(前年同期比35.5%減)となりました。

受注残高につきましては、18,286百万円(前期末比1.1%増)となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、真空薄膜装置及び成膜装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は12,177百万円(前年同期比55.3%増)となりました。また、セグメント利益は2,741百万円(前年同期比100.7%増)となりました。

受注残高につきましては、24,068百万円(前期末比22.4%増)となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造などを行っております。

売上高は1,249百万円(前年同期比24.2%減)となりました。また、セグメント利益は391百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

受注残高につきましては、1,008百万円(前期末比37.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ7,351百万円増加し、36,365百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,962百万円、資金運用のため有価証券が7,658百万円、たな卸資産が1,419百万円それぞれ増加したこと、及び売上債権が3,884百万円減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ293百万円減少し、8,138百万円となりました。その主な要因は、京都府木津川市における新工場建設等により建設仮勘定が326百万円増加し有形固定資産が150百万円増加したこと、時価の変動等により投資その他の資産が431百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ5,894百万円増加し、17,103百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が1,155百万円、前受金が4,101百万円それぞれ増加したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ237百万円減少し、1,075百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が177百万円、退職給付に係る負債が38百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,400百万円増加し、26,323百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,140百万円計上したこと、配当金を526百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が243百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,280,211	12,242,882
受取手形及び売掛金	7,461,326	4,070,487
電子記録債権	1,587,838	1,094,017
有価証券	600,000	8,258,930
仕掛品	8,524,989	9,912,840
原材料及び貯蔵品	99,808	131,152
その他	465,816	658,869
貸倒引当金	△6,165	△4,177
流動資産合計	29,013,826	36,365,002
固定資産		
有形固定資産	3,959,908	4,109,988
無形固定資産	90,283	78,408
投資その他の資産		
投資有価証券	3,888,774	3,562,018
その他	492,356	387,658
投資その他の資産合計	4,381,130	3,949,676
固定資産合計	8,431,323	8,138,073
資産合計	37,445,150	44,503,076

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,564,132	3,622,971
電子記録債務	2,652,175	3,748,647
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	584,932	604,552
未払法人税等	509,539	511,851
前受金	3,063,444	7,164,855
賞与引当金	198,050	200,581
製品保証引当金	67,389	77,677
その他	569,118	1,022,546
流動負債合計	11,208,782	17,103,682
固定負債		
長期借入金	649,824	471,855
役員退職慰労引当金	79,470	77,403
退職給付に係る負債	533,266	494,899
資産除去債務	14,888	15,113
その他	35,437	16,290
固定負債合計	1,312,886	1,075,561
負債合計	12,521,669	18,179,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	21,719,994	23,333,815
自己株式	△408,218	△408,218
株主資本合計	24,499,320	26,113,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621,205	377,969
退職給付に係る調整累計額	△197,044	△167,279
その他の包括利益累計額合計	424,160	210,690
純資産合計	24,923,481	26,323,832
負債純資産合計	37,445,150	44,503,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	17,494,573	22,571,055
売上原価	13,601,899	17,709,963
売上総利益	3,892,673	4,861,092
販売費及び一般管理費	1,413,855	1,647,150
営業利益	2,478,817	3,213,941
営業外収益		
受取利息	3,311	2,139
受取配当金	48,221	51,814
その他	34,680	23,078
営業外収益合計	86,213	77,033
営業外費用		
支払利息	5,987	7,232
売上割引	6,232	17,449
その他	10,625	2,295
営業外費用合計	22,845	26,976
経常利益	2,542,185	3,263,998
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,025
特別利益合計	—	1,025
税金等調整前四半期純利益	2,542,185	3,265,024
法人税、住民税及び事業税	749,750	1,063,286
法人税等調整額	9,697	61,391
法人税等合計	759,447	1,124,677
四半期純利益	1,782,738	2,140,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,782,738	2,140,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,782,738	2,140,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222,043	△243,235
退職給付に係る調整額	19,790	29,765
その他の包括利益合計	241,833	△213,470
四半期包括利益	2,024,572	1,926,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,024,572	1,926,876
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	7,947,218	+25.4
化工機関連機器	8,974,409	+47.0
その他	788,335	△32.1
合計	17,709,963	+30.2

- (注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	9,349,399	△14.9	18,286,041	+1.1
化工機関連機器	16,576,770	△5.3	24,068,011	+22.4
その他	1,526,332	△25.3	1,008,098	+37.8
合計	27,452,502	△10.1	43,362,152	+12.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	9,144,039	+14.2
化工機関連機器	12,177,092	+55.3
その他	1,249,923	△24.2
合計	22,571,055	+29.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。